

第2回定例研究会

「古環境の色々 青く美しい星 地球の色・環境変化」

第2回定例研究会は、神戸大学 大学院 人間発達環境学研究科 大串健一教授の氏をお招きし、「古環境の色々 青く美しい星 地球の色・環境変化」というテーマで講演いただきました。

講師

大串健一 氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授）

指定討論者

鎌田誠史（武庫川女子大学准教授）

コーディネーター

三宅正弘（武庫川女子大学 生活美学研究所研究員）

テーマ

「古環境の色々 青く美しい星 地球の色・環境変化」

講演日

2018年11月21日（水）13:00～14:50 受付開始 12:30～

※申し込み不要

場所

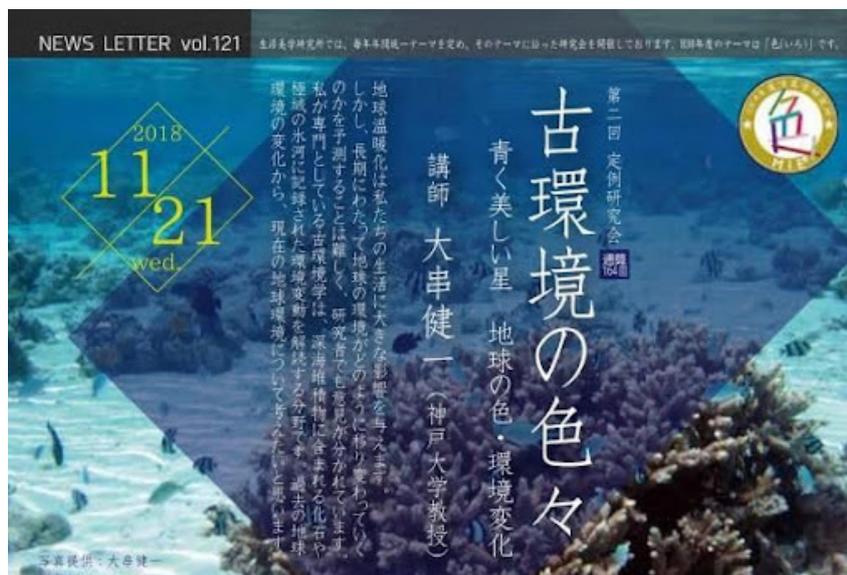
武庫川女子大学 マルチメディア館（MM館）1階 メディアホール

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生活美学研究所

TEL：0798-67-1291



**【講師プロフィール】**

栃木県生まれ。少年時代を那須高原の豊かな自然環境に囲まれて育つ。大学の卒業研究の野外地質調査では微少な化石を採取し、地層のできた古環境を考える。

大学院博士課程に進学後、研究船による太平洋の研究航海に参加し、深海底堆積物に含まれる微化石から海の環境変動を研究する。博士取得後、ポスドク研究生活を経て、2007年に神戸大学に赴任。

2009年研究船「みらい」の北極海の研究航海に参加。

